



# 「実質部活顧問なし」 勝ち取るまで そしてその後

首都圏 私立校英語科教諭  
第3学年主任 ホワイト！

\* アカウント名の由来

「日本一ホワイトな働き方の教員を  
目指す！」



# 今日の話のポイント！

- 私のキャリア～部活指導がしたくて教員を目指した黒歴史より
- 「実質顧問なし」を模索
- 理論武装で今の立場を確立
- Without 部活 の日々



# ホワイト！のキャリア [1]

## ～教員になるまで

高・大と部活に燃え、  
教員になって競技の指導がしたい！  
…と、競技で実績ある学校へ就職  
希望の部の(副)顧問になったが、  
「スポーツ優先」に疑問を抱く。

# 現任校 採用面接で



私がこの学校の教員になったら、  
数年で全国大会に導きます。

「部活指導がしたくて教員になった」  
という教員は、現実にいる。そして、頑なだ。



# ホワイト！のキャリア [2]

## ～部活する暇がない日々

期待の(?)若手として仕事殺到！  
生徒会、行事、補習、生徒募集…  
部活に行かずに毎日21時まで仕事  
自然と部活からはフェードアウト  
以後「部活どころではない」立場に

# 年350日働いていた時代



定時に帰るような教員が  
学校をダメにしているんです！

仕事に燃えている、ワーカホリックを  
感情で説き伏せるのは絶対無理！



# ホワイト！のキャリア [3]

## ～定時退勤への目覚め

30代に入り、多忙もやっと一段落。  
「学校の外で過ごす時間が楽しい」  
→外部でスポーツ、海外旅行etc  
定時退勤、休日確保するように。  
事実上の部活免除の正当性が…

# 帰り、休み、遊ぶホワイトへ 影の声が…



「でも、ホワイト先生  
部活しないよね…」  
「あの人、ズルくない？」

…この頃から「周囲の評価は気にしない。自分らしく生きる」と決意





# ホワイト！のキャリア [4]

～他業務へ活路&名前だけ顧問

「あいつは部活しないで早帰り…」

対抗策① 部活以外の仕事だ！

ICT、生徒会、30代で学年主任 etc

対抗策② 「名前だけ顧問になる」

学校に拠点のない「部」の引率要員

# 当時の本音、不安



そうは言っても、  
いつまでも逃げ切れない。  
何とか新しい口実見つけないと…

漫然とした不安もあって、最初は目的もなく、Twitterを開始…

→最初は誰だってこういうものです



# ホワイト！のキャリア [5]

～Twitter開始 2016年6月から

いろんなことを学びました。

時間外業務の根拠がない！

部活を公然拒否する教員がいる！

私立校は労基法完全適用だ！

→ 自分も、戦えるかもしれない



# ホワイト！の開戦前夜

～教働コラムズ参加 2017年3月

不当な時間外休日労働に苦しむ教員や家族の声に接する

--> 不満なのは自分だけではない

中教審部会の傍聴へ通う

--> 法的NG、グレーな業務は多い

★「法に依拠すれば、イケる」



# ホワイト！の戦い [1]

## ～朝の週番拒否

朝の週番活動＝時間前なのに当番  
翌年度の当番表が出た職員会議で  
「**時間前の強制は違法。断ります**」  
組合トップから叩かれ 校長と論争  
→ めげずに1年半 拒否を貫く

# 多勢に感情で立ち向かうのは丸腰同然。 戦うには武器が要る、それが「法規」

委員長：ホワイト！先生のような考えは、学校の在り方を危うくします



書記長：俺があなたに、週番の大切さを教えてあげます！



校長：週番は私立校の大切な業務です。従事を指示します。



労基法・就業規則上お断りです。





# 週番拒否の顛末 ～勤務割り振りで解決

「朝〇〇時間早く出勤したら、その分早く帰っていい」制度が導入。

→ 今は週番行ってます。…部活があったらできない芸当だけど。

誰かが言い出さないと。  
言い出す誰かがいて、初めて動き出す。



# ホワイト！の戦い [2]

## ～部活顧問拒否表明

「勤務時間内なら引き受ける。対価なき時間外・休日は断る」

一方、全員顧問制が導入される

→ **実質負担ない配置を勝ち取る**  
(=主顧問ワンオペ部の副顧問等)





# Without 部活の日々

「価値相違や好き嫌いを超えた相互尊重」

- 「権利に頼いが、それとは別に、仕事の話はできる」存在を目指す。
- 校外で過ごす時間の圧倒的多さ  
＝視野の広がり、新たな改善など
- ▲ICTの普及で、オンとオフの境界線が曖昧になりつつある現状



# 一連の行動から得た教訓

- 学校での孤立を恐れない。  
＝ 苦しみ続けることとの二択
- Twitterのつながりは心強い。
- 断る以外の仕事で全力投球。
- **感情論の土俵に乗らない！**  
＝ **法的根拠、冷静な口調で主張**

恥ずかしながら、Twitter始めるまで  
(=勤続20年ほど)私も無知でした。

- 労働基準法(特に労働時間、休日、  
残業に関する規定)
- 給特法(特に超勤4項目、教職調  
整額の支給根拠)
- 自治体や法人の就業規則
- 措置要求などの申立手段



# ホワイト！から 皆様へのエール



待っていても、すがっても、  
大きな動きは期待できません。  
まずは立ち上がり、同志を増やし  
Twitter等で連帯しましょう。

行き過ぎた活動(労働)を縮減する世  
論がある、今が最大のチャンス！